

61ヘクタール（甲子園球場の約16倍）の敷地を有する立命館大学BKCでは、生命科学部と薬学部の開設に伴い、教育・研究施設や設備のさらなる充実を進めます。理系4学部の英知が一堂に集結する大規模な教育・研究フィールドで、新たな生命科学へのアプローチが始まろうとしています。



- さまざまな防災関連のテクノロジー開発やシステム構築に取り組んでいます。

※このパンフレットに掲載された内容は、2006年9月現在構想中のものです。
※学部・学科の名称および構想の一部は、仮称・予定であり、
変更される場合があります。

立命館大学びわこ・くさつキャンパス

立命館大学

生命の根源を問うこと。 生命の行方を探ること。 立命館のライフサイエンス、さらなる進化へ。

科学技術の発展と人間の豊かで健康的な営みの調和が求められる現在、
立命館大学では「いのち」の問題を多角的・総合的にとらえる学問研究の発展に向け、理系学部を再編。
新たなライフサイエンスの拠点として「生命科学部」「薬学部」を開設し、
理系4学部によるこれまでにない融合型の教育・研究を展開していきます。



■ 今、問われる、生命科学を学ぶことの意味 ■

時代のうねりの中で注目を集める「生命の探究」

「21世紀は生命科学の世紀」といわれ、生命科学を基盤とした科学技術が社会や生活に深く浸透することが予想されています。21世紀の社会が持続的に発展を遂げていくために必要な医療、健康、環境、食料等の分野において、生命科学（ライフサイエンス）に関する教育・研究が果たす役割に大きな期待が寄せられています。「生命の根源」を問い、「生命の行方」を探る生命科学は、人類の生存・発展のカギを握る学問領域なのです。

2学部開設によって、立命館の理系はさらに進化します

2学部の新設によって、立命館大学の理系学部は4学部20学科に拡充。びわこ・くさつキャンパスは、日本の私立大学では最大規模の理系教育・研究の一大拠点となります。理系4学部は「人類の幸福・福祉の増進に役立つサイエンスの発展」を目標として掲げ、総合大学の強みを生かした多様で高度な教育・研究を展開。さらに、人文・社会科学系学部との連携を進め、生命・医療の課題に多角的にアプローチします。

■ 豊かな学びを可能とする教育システム ■

医科大学・他大学医学部との連携

立命館大学は、他大学医学部との連携を視野に入れ、新たな教育・研究活動の構築をめざしています。その先駆けとして、滋賀医科大学と教育研究協力に関する協定を締結。「健康創造科学研究会」を発足させ、産学連携も含めた研究コンソーシアムでの活動を開始しています。

大学院教育との連携

高い大学院進学率が予想される生命科学部では、学部から大学院まで系統的に学びを深めていけるよう、教育プログラムを構築。優秀者は学部入学から5年間で修士号が取得できる「ファスト・トラック制」の導入を検討しています。なお、薬学部は6年制のため、4年制の博士課程を構想しています。

社会的ネットワークの構築

経済産業省の産学連携ランキング（2005年度調査）で1位を獲得するなど、立命館大学は社会から高い評価を受けています。ライフサイエンス分野においても、企業、研究機関、医療機関と連携して研究・教育活動を展開し、多様な社会的ネットワークの構築を進めます。

きめ細かなサポート体制

学習や学生生活の相談に応じるアドバイザーを置き、個々の学生に合わせたきめ細かな指導・サポートを行います。また、薬学部では薬剤師国家試験へのサポート体制も強化します。

生命科学部



分子や遺伝子レベルの研究はもとより、細胞や器官などさまざまな視点へのアプローチから、
生命・生物とは何かを考え、環境や生態系のあるべき姿を探るライフサイエンス。生命科学部ではこのライフサイエンスに対し、
「生命医科学」「応用化学」「生物工学」「生命情報学」という4つの切り口から“生命・生物”を総合的に解明することをめざします。

生命の根幹を理解し、予防医学の発展をめざす

生命医科学科

「健康とはどのような状態か」「病気の原因とメカニズムは」など、生命と医療の根源的な問いにアプローチ。基礎生物学や生物工学、基礎医学を重点的に学ぶことで複雑精緻な生命現象を解明し、早期診断や疾病予防など予防医学を中心に生命システムの探究と医科学研究を展開します。

基礎医学

予防健康医学

ゲノム医科学

先端医療

分子レベルからのアプローチで、多様な課題に挑む

応用化学科

原子・分子レベルの理論と技術を駆使し、物質・生体分子の機能解明・新物質創製を行う現代化学を展開します。化学を中心に、生命から材料科学まで幅広く学ぶことにより、生命系への応用、エネルギーやナノテクノロジーなど、社会の重点課題に果敢に挑む人材を育成します。

ケミストリー

バイオケミストリー

ナノテクノロジー

エネルギー

生物の構造や機能を解明し、バイオテクノロジー分野を開拓

生物工学科

近年の科学技術の進展は、バイオテクノロジーが原動力であるといっても過言ではありません。生物工学科では、化学、生物学、生化学、医科学などを幅広く修得し、環境、医療、食糧、バイオエネルギーなど人類の基盤となる多角的な分野をテーマに研究を深め、生物資源の活用をめざします。

バイオテクノロジー

バイオエネルギー

生物資源

環境

生命科学と情報科学の融合によるバイオインフォマティクスを追究

生命情報学科

ヒトゲノムの完全解読に代表されるように、コンピュータは生命科学に不可欠な手段です。ライフサイエンスとコンピュータサイエンスを融合した生命情報科学は、今、社会から新しい研究領域として注目されています。情報科学と生命科学の2領域をバランスよく学び、ライフサイエンス分野で活躍できる人材を育成します。

バイオインフォマティクス

ゲノム解析

情報科学

プロテオミクス

「生命科学部」と「薬学部」の緊密な連携で、総合的にライフサイエンスを探究！

広がりとともに、ますます深化の度合いを強めるライフサイエンスの分野において、
立命館大学では2つの新学部をあらゆる面で緊密に連携させ、先進的な教育・研究を展開していきます。

薬学部

6年制



テーラーメイド医療やゲノム創薬など、遺伝子レベルの研究が進むにつれて医療・医薬分野は大きく様変わりしています。
立命館大学薬学部では、高度かつ実践的な薬剤師養成のための教育にとどまらず、これまでに培った本学の理工系、情報系研究を背景とした、
質の高い薬学教育を進めるとともに、生命科学部との横断的なカリキュラムなどを設定し、幅広い分野で活躍できる人材を養成します。

薬学から生命を探究し、医療の発展をめざす

薬学科

基礎薬学から医療薬学まで、バランスの取れた教育により、基礎力、実践力、研究力を備えた人材の育成をめざします。
化学物質である薬や生命現象を理解するとともに、幅広い教養を身につけられるカリキュラムで、医療人として、また科学者としての基盤を確立。病院や薬局での実務実習や模擬実習を通じて、薬剤師としての実践力を養います。

薬剤師養成教育

臨床薬剤師

チーム医療

医薬品開発研究